

クリーンセンターごみ処理施設の建て替え（広域化） についての説明会における質疑概要（第6回）

この概要は、平成 25 年 7 月 3 日（水）大坂上中学校にて開催した説明会における質疑応答・意見についてまとめたものです。

説明会にご参加できない方にも、説明会当日の質疑等の内容をわかりやすくお知らせするために、重複した質問・意見の省略をしていることをご了解ください。

1. 広域化全般について

Q：日野市のごみを小金井市、国分寺市に持って行くような交渉はしたのか？

A：小金井市、国分寺市は 2 市で造る建設計画が難しい状況になり、日野市単独の建替え計画で一緒にという申し入れをしてきたため、他の場所という検討はしておりません。

Q：広域化のメリットで、「ごみゼロ社会を目指し 3 市共同で可燃ごみの再資源化を推進」「最新の設備で万全の環境対策」とあるが、これは単独でも同じことであり、広域化のメリットではないのではないのか？

A：広域では財政面で費用が生み出せ、それによりさらにごみの減量化、資源化等が可能になります。広域により、さらにごみゼロ社会を目指す政策が実現できるということです。

Q：ごみゼロ社会を目指すことと、広域で施設を建設することは関係がないように聞こえる。ごみゼロ社会を目指すというのは、以前から言っていて、市民は有料化に賛成し、生ごみを絞って、できるだけごみを少なくしている。それと広域とどのような繋がりがあるのか。

A：各市でごみ減量に取り組み、色々な政策をする必要があります。広域により、例えば、生ごみのバイオガス化施設建設に費用を回せて、さらにごみゼロ社会を目指す施策ができます。

Q：処理場の更新では、現在の炉より改良し、最新技術で有害ガスが出ないようにして、日野市単独で進めるべきである。一部事務組合は特別地方公共団体で、間接的になる。そこで決めたことや、何かあった場合に、市民が調査やデータの提出などを願っても、出てくるような代物ではない。そのような性格のものを市の上に造るという事である。

A：一部事務組合では、形としては行政と市民が遠くなりますが、運用の仕方次第と考えます。市として、一部事務組合に市民の意見を反映させる努力をして、遠くならない形での運営をさせていくことで、解消できると考えています。

Q：石田での建設は、日野市単独で、市と住民の信頼関係があることを前提に認めている。単独なら 100 トンだが、広域の 290 トンでは有害ガスが 3 倍になる。クリーンセンター更新時期だから他市のごみも入れるというのは市の考えで、住民は承知も賛成もしていない。

A：一定の大型炉で交付金を受け、燃焼効率等で排ガス処理にメリットがあります。単独では（広域化と同じレベルの）排ガス処理にかなりの金額をかけないと難しいため、広域化、大型炉を提案しています。

Q：丁寧な説明と言いながら、たくさん間違いがある資料を平気で出し、何度言っても訂正しない。このようなやり方では、住民は行政を信頼できなくなり、広域だろうが単独だろうが、石田に造らせないという話になる。

A：このデータは間違いではありません。同じような施設を造った東京 23 区の清掃工場は大きい焼却炉が多く、東京二十三区清掃一部事務組合のホームページのデータを見れば、有害物質等が検出せずという状況になっているのが分かります。

Q：3 市長の説明会で、小金井市長は、第 2 候補地のジャノメシン跡地は市庁舎を造るためできないと言ったが、処理場無く、日野市が小金井市のごみの一部を焼却している状況である。国分寺市は違う場所に建替える方針としながら、市民の反対で建てられず、小金井市も市民の反対で建てられない。日野市はなぜ地元が反対していても受け入れるのか。

A：小金井市は、府中市、調布市との 3 市で二枚橋衛生組合で処理していました。平成 19 年に炉を停止し、国分寺との共同処理に向けて、市民参加の検討委員会を設置し、二枚橋衛生組合の跡地を建設場所に決定しましたが、府中市、調布市との調整がつかず、頓挫しました。小金井市も一つの行政体であり、市民の要望に応えながら色々考えなければならず、施設を作る用地を潰してというのは難しいという事情もあります。その中での選択として、日野市に要請がありましたので、助け合いの精神として受け入れることは必要であると考えております。また、小金井市のごみを受け入れているとの話がありましたが、現在は小金井市のごみは受け入れていません。

Q：3 市長の説明会では、地元の反対がある限り強行しないと行って、1 週間経たないうちに、広報 6 月 15 日で日野市は広域化を進めると言っている。

A：広報の表現はあくまでも進めたいという立場を表明したもので、決定ではありません。予算の面、条例等の手続きの面を議会で議決を得た段階で決定になりますが、現在はその手前の段階で、説明会を開催し、色々な意見をいただいている段階です。強引に進めるということではありませんので、ご理解をいただきたいと思います。

Q：市民の健康と命はお金では売れない。真剣に日野市の健康と命を考えて欲しい。市民の立場、健康を守るのは市長しかできないので是非お願いしたい。

A：市民の命を守るのが第一という責任があり、その意味合いでこの問題はどうかという観点で考えています。現在の処理場より高度な排ガス処理ができることを前提に計画を考えており、その意味では市民の安全を守れると思っています。

2. 費用関係について

Q：建設費は、国分寺市と小金井市も負担するが、その他のごみ収集車、クリーンセンター職員の給料、補修費、土地代等の費用は、同じ比率で 2 市も負担をしていくということか？

A：一部事務組合という合同の組織を作り、維持管理費等を 3 市で分担します。分担比率は検討中ですが、他の一部事務組合ではごみ量に比例させていることが多いです。今後 3 市で協議して、できるだけ日野市の負担が少なくなるよう交渉していきたいと考えております。

Q：建設費は日野市が48%と約半分負担することになっているが、ごみ量による比率との解釈で良いか？ごみ10万トンの内、4.8万トンが日野市であり、その他が5.2万トンか？

A：その通りです。

Q：他の2市は広域な土地があるにも関わらず、他市が嫌がる焼却を日野市で行い、車両増で環境にも負荷がかかる。交付金が出て、経済的に安価になるかもしれないが、見えない負担を日野市が負担することになる。その辺りの前提が決まっていけないのに、日野市が全部処理するというのは、安易な考えではないか。地元の方達のことを考えると申し訳ない気持ちである。建設費は2市で払うくらいの意気込みがあれば、納得がいくが、今は何も無い。そのような声が今日は聞けるかと思って来たが、残念ながらなかった。

A：建設費は、2市でもさらに負担してもらおう方針を掲げて、今後交渉に当たっていく予定です。現段階では基本設計もしておらず、正確な建設費等が分かっている段階です。今後基本設計を行う中で、土地代等も踏まえて対応をしていきたいと考えております。

Q：国を挙げて広域化を進めていると言うが、武蔵野市は単独で1日120トンの焼却炉を計画し、61億円である。日野市は単独で146トン、82億円で進めるつもりであったが、100トンを超える状態までごみ減量されている。環境省から交付金が出れば1/3削減され、広域でやらなくても環境負荷の少ない地元で優しい小さな焼却炉で十分である。

A：武蔵野市は元々三鷹市と広域処理をしており、搬入等の問題で別々になり、単独の建替えになりましたが、検討委員会で、次回は広域を検討したいとしています。日野市は4年前にプラントメーカーから見積もりを取って82億円と出しました。広域と単独をしっかりと比較するべきとの意見を頂いており、基本設計で皆様に話していきたいと考えております。

Q：ごみ減量が進んでいるから、146トンの炉は必要ない。価格も、他自治体の同規模施設と比べるのが当然であり、業者の見積もりが最初は高いということは分かっている。私たちは反対する会を作っているが、勉強するほど、この計画は白紙撤回するべきだと思っている。

A：費用については、負担割合等が決まっていなかった中での試算になります。4年前にプラントメーカーから見積もりを取って出した設計額を基に、昨年11月の段階で、広域処理との費用比較を求められ、過去10年間の落札金額から試算をしたという事です。ステージが違うのは事実ですが、この時点ではこのようなデータで比較をしました。同じステージの場合、82億円を基に、広域施設290トンではどうかというのを、環境省の0.6乗則という法則で計算をすると、建設費は123.8億円になります。日野市の負担は40.9億円と少々多くなりますが、負担割合が決まっておらず、例えば均等割りになれば、先の比較より費用負担が下がるということになります。

3. 環境影響について

Q：周辺の大気環境のデータであるが、類似施設の排ガスの拡散シミュレーション結果と出されているが、どこのデータであるか？

A：今年の4月から稼働した調布市、三鷹市で共同処理をしているふじみ衛生組合のデータを使ってシミュレーションしています。

Q：それは何年度のデータか？

A：今年の4月から稼働しており、シミュレーションは試運転途中で測定したデータです。

Q：本稼働してからのデータはないのか？ちゃんとしたデータはないのか？

A：試運転時のデータではありますが、ふじみ衛生組合からきちんと出されている数値です。

Q：クリーンセンターから1km以内に住んでいて、洗濯竿を拭くと、毎日このくらい黒い物が取れる。煙突から煙が出て、拡散し希釈されたものだと思う。1km圏内には、学校や幼児の施設等が多くある。そこに大型焼却炉を持ってくることに納得がいかない。

A：黒いものが、焼却炉から出たものというのは、根拠があるのでしょうか。もし絶対に焼却炉のものと言うのであれば、ご自宅の環境測定をさせていただきます。今お持ちの物も、分析すれば何の成分であるか分かるので、お渡しいただければお調べいたします。

4. その他

Q：既存施設より排ガス量が増えても有害物質が少なくなるのを前提として、広域の方が、建設費が低減される。広域の処理場を建設し、建設費が低減されるのであれば、是非、未来のある子どもに支援をお願いしたい。

A：今後の日野市の財政を考えると、そのように使っていくためには、公共施設建設については、できるだけ共同でやる工夫が必要です。必要な分野に使うお金を出来るだけ生み出したということであり、努力していきたいと思います。

5. 意見

- ・新設の炉は110 t/日で良い
- ・新設の炉は100 t/日がいい。
- ・環境を金で売るのがか？
- ・インチキな資料だ。
- ・建設費について設計額と落札額を比較するのはおかしい。
- ・こんな説明では背任行為だ。
- ・賛成ならば、賛成の人がいる地域に建設してほしい。